

## 1 本校の現状

- ・部活動の入部は、希望制としている。
- ・部活動に入っている児童は部活動を楽しみにしている子が多く、技能の向上や心の成長を目指して取り組んでいる。
- ・最終下校時刻は4時45分だが、日没までに帰宅できるように季節に合わせて下校時刻を変えている。

## 2 具体的な活動方針

### (1) 部活動運営について

- ・学校は、適切な部活動運営を組織的に行うため、指導・運営体制を整備し複数の教員が連携して指導できるようにする。
- ・校長は、子供・顧問の安全面に配慮するために、部活の月間計画を把握し、承認する。
- ・顧問は、子供の体調や安全面に十分配慮し、練習計画・内容も子供に過度な負担を与えないようにする。

### (2) 活動量（休養日や活動時間等）について

#### ア. 平日

- ・活動日は、月・木曜日を除き、週2日以内とする。
- ・活動時間は、2時間以内とする。
- ・始業前は活動しない。

#### イ. 休日（週休日及び祝日）

- ・土・日のいずれかは、原則「休養日」とする。
- ・活動時間は、3時間以内とし、長時間〔終日〕練習は行わない。
- ・月に一回以上は、土・日のどちらも「休養日」とする。

#### ウ. 長期休業中

- ・土・日については、原則活動をしない。
- ・活動時間は3時間以内とし、長時間〔終日〕練習はしない。

## 3 安全の確保と緊急の対応

- ・日没までに帰宅できるように活動を終え、安全に帰宅できるようにする。
- ・熱中症を予防するために、高温・多湿の際はWBGT値（熱中症指数）を計測し、活動の制限や十分な休憩時間を確保する。
- ・顧問が1～2人が指導にあたり、安全面の管理が十分にできない時は実施をしない。ただし、休日の活動については、2人以上の顧問で指導にあたる。
- ・緊急の事態や不測の事態に対処できるように、顧問不在の中で活動しない。
- ・事故が発生した場合に備え、「緊急連絡体制」を作成し、速やかに管理職に第一報が入るようにする。
- ・事故が発生した場合には、人命救助を最優先に考え、救急車の要請等迅速に行う。また、速やかに管理職および顧問によって事故原因を分析し、安全管理と指導の在り方について点検するとともに再発防止対策を講じる。